

「発達障害がある人の読み書きに関するアンケート」(親用質問用紙)

このアンケートは、厚生労働省平成30年度障害者総合福祉推進事業の『発達障害者の顕在化されにくい「読み書き困難」についての実態調査』において、18才以上の発達障害がある人の文字や文書などの読み書きについての状況(文書の内容理解も含めて)をお伺いするものです。

学齢期にあっては、「教科書の音読に時間が掛かる」「漢字の書き取りができない」「板書が写せない」「文章題が苦手」などの困難があっても、大人になり社会生活を送るうえでは「読み書き困難」は大きな課題として挙げられていない現状があります。

それは、「読み書き困難」は本人の努力や能力に原因があるとされやすいため、読み書きが苦手であることを周囲に知られたくない気持ちが強かったり、「注意集中困難」や「感覚過敏」、「低緊張」、「不器用」「不随意運動」といったより重い障害の症状に「読み書き困難」が隠れてしまいがちなことが考えられます。そこで、発達障害のある人が、どのくらいの割合で、どのような文字や文書の読み書きの苦手さを持っているのか、本人と親へのアンケートを実施することにしました。

回答はデータとして解析いたしますので、回答者が特定されることはありません。本人のみ、親のみの回答でも構いませんので、ご協力をお願いいたします。

NPO法人全国LD親の会 理事長 井上 育世

【記入方法】 該当するものの記号に○をつけ、()内にはご記入をお願いします。

質問は、[1]から[4]まであります。

[1] あなたご自身についてお答えください。

- ① 発達障害のある本人との関係 (いずれかに○) (a) 父 (b) 母 (c) その他
- ② 現在、お住まいの都道府県 (いずれかに○)
- (1)北海道 (2)青森県 (3)岩手県 (4)秋田県 (5)宮城県 (6)山形県 (7)福島県 (8)茨城県
 (9)栃木県 (10)群馬県 (11)千葉県 (12)埼玉県 (13)東京都 (14)神奈川県 (15)新潟県
 (16)長野県 (17)山梨県 (18)静岡県 (19)愛知県 (20)岐阜県 (21)富山県 (22)石川県
 (23)福井県 (24)三重県 (25)和歌山県 (26)奈良県 (27)滋賀県 (28)京都府 (29)大阪府
 (30)兵庫県 (31)岡山県 (32)鳥取県 (33)広島県 (34)島根県 (35)山口県 (36)徳島県
 (37)香川県 (38)愛媛県 (39)高知県 (40)福岡県 (41)佐賀県 (42)長崎県 (43)熊本県
 (44)大分県 (45)宮崎県 (46)鹿児島県 (47)沖縄県 (48)日本以外

[2] 発達障害のあるお子さんの状況について伺います。

- ① 年代 (いずれかに○) (a) 18・19才 (b) 20才代 (c) 30才代 (d) 40才代 (e) 50才代
- ② 現在、どのような診断・判定・教育的判断がありますか。あてはまるもの全て○をつけてください
- (a) LD (b) AD/HD (c) ディスレクシア (d) 協調性運動障害 (e) 自閉症スペクトラム(広汎性発達障害、自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群、特定不能の広汎性発達障害) (f) チック・トゥレット症
 (g) 知的障害 (h) その他 (i) 診断・判定・教育的判断なし

- ③ ②で診断・判定・教育的判断があると答えた方【(a)～(h)に○をつけた方】に伺います。お子さんが一番初めに診断された時期はいつですか？（いずれかに○）
- (a) 3才以下 (b) 3才から小学校就学前 (c) 小学1年～3年 (d) 小学4年～6年
(e) 中学生 (f) 高校生 (g) 高校卒業後
- ④ 読み書きについて療育や指導を受けたことがありますか？ どこで受けましたか？
- (a) ある 【(b) 学校 (c) 児童発達支援センター (d) 療育センター (e) 医療機関併設の療育機関
(f) 大学等研究機関 (g) 児童発達支援事業所 (h) 放課後等デイサービス事業所
(i) 学習塾 (j) その他】
- (k) ない
- ⑤ ④で【(b)学校】と答えた方に伺います。どこで、読み書きの指導を受けましたか？
- (a) 通常の学級 (b) 通級 (c) 支援学級 (d) 支援学校
- ⑥ 読み書きの困難さについて学校や職場の理解がなく、二次障害を起こしたことがありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) ある 【(b) 不登校 (c) 精神的不安定 (d) うつ状態 (e) 暴力・暴言 (f) 無気力
(g) 引きこもり状態 (h) 働く気がない (i) その他】
- (j) ない
- ⑦ 障害者手帳、判定書を所持していますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) 療育手帳（愛の手帳） (b) 身体障害者手帳 (c) 精神障害者保健福祉手帳
(d) 障害者職業センターの判定（知的障害） (e) 所持していない
- ⑧ 障害基礎年金の支給について、お子さんが20歳以上の方にお尋ねします。該当するものに○をしてください。
- (a) 支給を受けている (b) 支給を受けていたが、支給を停止された (c) 支給を申請したが、不可だった
(d) 申請中 (e) 申請していない
- ⑨ お子さんの現在の状況について、該当するものに○をしてください。
- (a) 学校在学中（大学・短大・高等専門学校・専攻科・大学院・専門学校・各種学校など）
(b) 一般就労（正社員、契約社員を問わず、20時間/週以上勤務）
(c) 障害者雇用（正社員、契約社員を問わず、20時間/週以上勤務）
(d) パート・アルバイト（20時間/週未満の勤務） (e) 就労移行支援事業所 (f) A型就労継続支援事業所
(g) B型就労継続支援事業所、授産所、作業所（旧体系）に通所
(h) 職業訓練（訓練校・委託訓練・職場実習等） (i) 無職

[3] お子さんの困難さについて伺います。

① 幼少期に下記のような困難さがありましたか？ 該当するものに○をしてください。(複数可)

- (a) 言葉が遅かった (b) 指さしをするのが遅かった (c) あちこち走り回っていた
(d) 遊び友達を叩いたり、噛みついたりした (e) 食卓のコップ等を良く倒した
(f) 友だちとごっこ遊びをしなかった (g) しりとりや言葉遊びが苦手だった
(h) 絵本などに興味を示さなかった (i) 文字に興味を示さなかった (j) お絵描きに興味を示さなかった
(k) 公園の遊具で遊ぶのが嫌いだった (l) 自分で服を着れるようになるのが遅かった
(m) 自分の右・左がわかりにくかった (n) 約束やルールを守って遊べなかった (o) 集団行動が苦手だった
(p) 偏食が強かった (q) こだわりが強かった (r) 急に大声を出したりした (s) 特に無かった

② 学齢期に下記のような困難さがありましたか？ 該当するものに○をしてください。(複数可)

- (a) ノートを取らない (b) 書字に時間がかかる (c) 板書を写さない (d) 書くことを嫌がる
(e) 夏休みの日記が書けない (f) 作文が嫌い (g) 漢字学習を嫌がる (h) 宿題をしようとし
(i) 読みに時間がかかる (j) 聞き間違いが多かった (k) 読み間違いが多かった
(l) スムースな音読が難しい (m) 習った漢字が読めない (n) 文字が汚い
(o) 周囲が気になって授業に集中できない (p) 落ち着きがない・多動・多弁 (q) 勝手に声が出てしまう
(r) 身体が勝手に動いてしまい授業に集中できない (s) 片付けができない (t) 字がマス目に収まらない
(u) 筆圧が強すぎる (v) 筆圧が弱い (w) 体の動きがぎこちない (x) 姿勢を保持できない
(y) 不器用 (z) 算数の文章題が苦手 (A) 距離感がつかみにくく人や物によくぶつかる
(B) 持ち物をよく失くす (D) 筆箱など机の上に置いてある物をよく落とす (E) 動作が乱暴
(F) 用具や道具をすぐに壊す (G) 特に無かった

③ 文字や文書について、現在の生活で下記のような困難さがありますか？ 該当するものに○をしてください。

(複数可)

- (a) 郵便物の内容の細かい把握ができない (b) 文字や文書の手書きが難しい
(c) 本人だけでは手帳の更新など役所等への書類が作成できない (d) 電車やバスの行き先などが読めない
(e) 街中の看板や案内掲示がわからない (f) 長い文書だと重要な箇所を見落としてしまう
(g) 長い文書だと途中から読まなくなってしまう (h) 読書などが楽しめない
(i) 書くことが苦手なので考えをまとめることも苦手 (j) 契約書の内容などが理解できない
(k) 設問などの文章の意図の把握が困難 (l) その他()

④ 働くうえで、読み書きについて下記のような困難さがありますか？ 該当するものに○をしてください。(複数可)

- (a) 読み書きが苦手なので、職種が限られる (b) 仕事に必要なメモがとれない
(c) 文書の内容把握のためには説明が必要 (d) 文書の読み書きに時間が掛かる
(e) 報告書などの書類が書けない (f) その他()

[4] お子さんの困難な部分のサポート方法について伺います。

- ① 文書の内容の把握について（読み書きや理解に関して）、ご家族あるいは（学校や職場で周囲の人）がしているサポートはありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) 文書の代読 (b) 文書の代筆 (c) 文書の内容の説明・確認 (d) 提出期限など文書の管理
(e) IT 機器などの使い方の説明 (f) 全くサポートしていない
- ② 文章の読み書きの苦手さを補う手段として本人が身に付けている（日常的に利用している）方法などがありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) パソコン・スマホなどの利用 (b) 読み上げソフトの利用 (c) 音声入力ソフトの利用
(d) 紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用 (e) 内容の説明や代読・代筆など周囲に支援を求める
(f) 特にない (g) その他（ ）
- ③ 将来的に本人が利用できるようになって欲しいサポートがありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) パソコンでの文字入力 (b) 読み上げソフトの利用 (c) 音声入力ソフトの利用
(d) 紙の書類にパソコンで入力できるソフトの利用 (e) 安心して気軽に相談できる窓口
(f) 内容の説明や代読・代筆などをしてくれる日常生活上の支援者 (g) 支援機器やサービスの情報提供
(h) 動画や音声で伝えてもらえるソフトの導入 (i) 特にない
- ④ ご家族のサポートが無くなった場合、心配なことは何ですか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) 一人では契約（アパートやスマホなど）ができない (b) 一人では医療機関で問診票などが書けない
(c) 家族が入院した時など医療機関や保険会社に提出する書類作成を任せられない
(d) 手帳の更新など行政関係書類が一人では処理できない (e) 一人では金融機関の利用ができない
(f) 商品や製品の使い方など説明書を読まないの、自分勝手に操作する
(g) 本人が内容を理解していない契約による損失や多重債務を負う (h) 特にない
(i) その他（ ）
- ⑤ 本人が相談できる人（親や家族以外）または、機関がありますか？ 該当するものに○をしてください。（複数可）
- (a) ある 【(b) 友人 (c) 職場の同僚 (d) 職場の上司 (e) 支援機関の職員 (f) 学校の先生
(g) その他】
(h) ない

ご協力ありがとうございました。

ご回答いただきました調査用紙は、同封の封筒に入れて、2018年11月20日までに返送してください。
本人の調査用紙と一緒に返送してください。もちろん、親のみ、本人のみの回答でも結構です。